2021 ～ 2022 年度
ＲＩテーマ
SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために
奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために
国際ロータリー会長　シェカール・メータ（国籍・インド）

2720 地区
別府中央ロータリークラブ

例会日　火曜日　12 時 30 分
ところ　ANAインターコンチネンタル別府リゾート＆スパ
〒874-0000 別府市大字鉄輪499番地18
TEL（0977）66-1000　FAX 66-1002
事務所　別府市西野口町 1 番 1 号 青山通りビル 3F
〒 874-0931　TEL（0977）23-9000
FAX（0977）23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事　梅津　圭二　理事　平野　英壽　役員　会　長　森園　伸也　会　計　河村　貴雄
〃　平野　教康　〃　髙宮　勝美　副会長　梶原　和朗　ＳＡＡ　西馬　良和
幹　事　佐々木久宜

VOL. 34 - 7
2021 年 10 月 5 日

第 1476 回 例 会

会報担当　森　宗明

◆点　鐘　12：30

◆国　歌　君が代

◆R　S　奉仕の理想

会長の時間　副会長　梶原　和朗

みなさんこんにちは。

副会長の梶原です。

本日は会長の森園さんが遅れているので急遽会長の時間の代役をやらせて頂きます。

あらためまして、お久しぶりです。

コロナ第５波の影響で会社から会合等の出席は禁止と言われていたので出席が出来ませんでした。

９月27日より大分県独自の宣言が解除されたので本日例会に出席させて頂きました。

しかしながら、会社からはまだ出席をしていいと言われていないので私が居た事は内緒でお願いします。

みなさんコロナの影響はどうでしょうか。

弊社は９月決算ですが目標数値には少し届きませんでしたが去年よりは少しですが売り上げは上がりました。

あまり時間をとっても卓話の時間が短くなるだけなので終わらせて頂きます。

ありがとうございました。

◆出席報告　平野　教康

本日の出席	会員総数	20 名
	出席者	12 名
	事前メイクアップ	0 名
	理事会承認	0 名
	出席免除	4 名
	欠席数	4 名
	出席率	75.00 %
前々回の訂正 9/7	出席率	60.00 %
	事後メイクアップ	0 名
	理事会承認	0 名
	出席免除	5 名
	修正出席率	60.00 %

連続　－ 回
通算　751 回　100 %

・メイクアップ
事前
事後
欠席　中尾、佐藤(政)、髙宮、竹下
理事会承認
出席免除　溝部、村津、河村、木村

幹事報告　佐々木久宜

―地域社会の経済発展月間／米山月間―

1．本日の内容
「米山奨学生オンライン卓話　他」

2．「社会奉仕・国際奉仕・公共イメージ」合同セミナーのご案内
日　時　令和３年11月６日(土)13:00～16:00
場　所　J：COMホルトホール大分
出席対象者　会長、幹事、社会奉仕委員会関係者、国際奉仕委員会関係者、公共イメージ委員会関係者、事務局員、他希望者

3．「職業奉仕WEBセミナー」のご案内
日　時　令和３年11月20日(土)10:00～12:00
会　場　RI第2720地区ホームページ「職業奉仕WEBセミナー」視聴
出席対象者　職業奉仕委員長、ほか希望者、地区役員（任意）

4．第３回定例理事・役員会報告
（令和３年９月７日（火）13：40～
於：インターコンチネンタル例会場　６名）

確認事項

９月・10月　例会等の予定の確認。

【基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間】

９月７日「第２回クラブ協議会」
12：30～
於：インターコンチネンタルホテル

14日　例会はありません。

21日　月見会　18：30～
於：ホテル山水館

28日　「通常例会」12：30～
於：インターコンチネンタルホテル

【地域社会の経済発展月間／米山月間】

10月５日　「通常例会」12：30～
於：インターコンチネンタルホテル

12日　例会はありません。

19日(火)→24日(日)　近隣７ＲＣ親睦ソフトボール大会に変更

26日　「通常例会」12：30～
於：インターコンチネンタルホテル

審議事項

１）大森ガバナー公式訪問例会の件。10/７(木)
※延期（開催日未定）

２）その他
○おぎゃー献金袋配布の件。※承認
○例会食費の件。※村津忠久会員　免除承認

5．本日、例会終了後～、「第４回定例理事･役員会」を開催致します。

6．お祝い
会員誕生日　梅津圭二会員（10月15日）
※記念品をお渡し致します。
結婚記念日　佐藤政明会員（10月21日）
配偶者誕生日　亀井京子さん（10月21日）
※ご自宅にお花が届きます。
皆　　勤　竹下一枝会員(８月27日＝２年)
佐藤豊和会員(９月１日＝１年)
村津忠久会員(９月12日＝35年)
平野英壽会員(９月19日＝32年)
亀井　孝会員(10月４日＝16年)
平野教康会員(10月５日＝11年)

7．例会変更のお知らせ
大分南ＲＣ　10月８日（金）の例会は定款第７条第１節に基づき休会
大分臨海ＲＣ　10月11日（月）の例会は例会変更の為　同日にてサイン受付
大分中央ＲＣ　10月12日（火）の例会は例会変更の為　同日12：00～12：40トキハ会館４Ｆにてサイン受付
大分ＲＣ　10月19日（火）の例会は定款第７条第１節に基づき休会
大分東ＲＣ　10月21日（木）の例会は定款第７条第１節に基づき休会

大分南ＲＣ　10月22日（金）の例会は例会変更の為　同日12：00～12：40トキハ会館４Ｆにてサイン受付

大分1985ＲＣ　10月25日（月）の例会は例会変更の為　同日12：00～12：40トキハ会館４Ｆにてサイン受付

大分東ＲＣ　10月28日（木）の例会は例会変更の為　同日12：00～12：40トキハ会館４Ｆにてサイン受付

８．次回例会の予定（10月26日）
「未定」12：30～
於：インターコンチネンタルホテル

９．本日の回覧
①「別府近隣７ＲＣ親睦ソフトボール大会」出・欠席
②「もみじ谷奉仕作業」出・欠席

10．本日の配布
① ロータリーの友10月号
② 2021-22年度ロータリー米山記念奨学事業「豆辞典」
③ 2021-22年度別府中央ロータリークラブ現況と活動計画

スマイルボックス　担当　亀井　孝

○平野(教)会員

10月、ロータリーと仕事にがんばりましょう！

○佐藤会員

皆様ご無沙汰でございます。部下行員がコロナ感染して自粛しておりました。
早く終息する事を祈願しましてスマイル。

○西馬会員

新内閣が誕生し、少しずつ社会経済情勢も回復していく事を願ってスマイル致します。
ゴルフも回復しますように！

○梅津会員

今日も無事に例会開催出来て良かったです。食事もおいしいです。

○中畑会員

早いもので…もう10月。10月は長男の誕生月。初めて出産した時のことを思い出し懐かしいスマイル。

○森会員

２年ぶりでしょうか。周囲がザワザワしてきました。この感じを待ちわびていました。仕事が動きますように！

卓　話

「米山奨学生オンライン卓話　他」

みなさん、こんにちは！私の名前は、シバニメルバです。別府ロータリークラブです。今日は、インドと私の人生について、いくつか お面白いことをシェアしたいと思います。

こちらが、今日のプレゼンテーションの内容です。

＜私が日本に来た理由＞

では、まずはじめに、私の自己紹介を少しさせてください。

私はシバニメルバと申します。21歳です。APUで国際関係と平和学を勉強しています。私の趣味は、音楽を聴くこと、料理をすること、新しい料理を作ること、そして新しいレストランを見つけることです。

私はインド出身です。インドは文化の多様性、豊かな歴史、そして、もちろんカレーで有名です。インドは世界で２番目に人口が多い国で、10億人を超えています。インドには780の非公式言語があり、22の公式言語があります。国語はありません。英語はインドの国の言葉ではなく、接続言語として使われています。

タージマハル、「ナマステ」という言葉、ナン、ボリウッドなど、これらはインドのものとしてよく知られているものだと思います。しかし、私はこれらをみても、自分と関係があるものだとはまったく感じられません。なぜなら、私は南インド出身で、南インドには南インドの文化と言葉があるからです。タージマハル、「ナマステ」という言葉、ナン、ボリウッドは、北インドのものです。

こちらは、南インドの地図です。南インドには、４つの州があります。左上から、Karnataka州、Andhra Pradesh州、Tamil Nadu州、Kerala州です。この４つの州の言語と習慣と伝統はとても似ています。

これらの写真は、南インドの文化です。

考古学の研究によると、タミル語は三世紀からあり、世界でもっとも古い言語のひとつです。こちらのスライドでタミル語のスクリプトを見ることができます。

こちらのスライドは、Tamil Naduに関するものです。

Tamil Nadu州の北にある。

これらは、私の故郷の写真です。

次に、タミルの文化と伝統をご紹介します。

多くの海外の人は、インドを旅行するとき、どこに行っても「ナマステ」と言います。しかし、ナマステという言葉は、ヒンディー語なので、Tamil Nadu州では通じません。Tamil Naduに住んでいるほとんどの人は、ヒンディー語を話しません。タミル語で「こんにちは」は「Vanakam」と言います。タミル語で「ありがとうございます」は「Nandori」と言います。あいさつをするときは、両手を合わせて、少しお辞儀をして、微笑みながら、Vanakam / Nandoriと言います。

Malayalam: Namashkaram
Telugu: Namaskaram
Kannada: Namaskaraa

次は、Tamil Naduの伝統衣装を見ていきましょう。まず、Sareeです。Sareeは成人の女性が　着る服です。Tamil Naduはシルクで作られたSareeが有名ですが、とても高いものなので、特別な時だけ着ます。成人していない女の子たちは、シルクで作られたスカートとブラウスを着ます。男の人の伝統衣装は、Veshtiと呼ばれる、シルクで作られたシャツとスカートです。

次に、伝統的な食文化を見てみます。

南インドの伝統料理ではお米が使われます。
北インドの伝統料理は小麦粉が使われます。
南インドでは、バナナの葉っぱの上に食べ物を乗せて、右手を使って食べます。
こちらの写真のように、バナナの葉っぱの上に様々な料理を乗せて食べます。
これらの料理は、“Thaali” または “Meals”と呼ばれています。
残念ながら、大分には、南インド料理を食べられるお店はほとんどありません。

この学校は、日本にある創価大学と学術交流があります。
学校には、日本語を教える日本人の先生がいます。
私は、小学生から高校生まで日本語を勉強しました。５年間ぐらい日本語を勉強しました。それまでは、日本について何も知りませんでした。日本語を勉強する中、その先生の姿から、日本文化を学びました。その先生は、時間を必ず守り、親切で、他の人に敬意をもって、気を配って接していました。一方で、インド人はすべてのことにとても遅れることで有名です。また、インド人は、他の人に気を配ることもしません。日本語を勉強する中で、私は、日本人とインド人のそれぞれの特徴を学ぶことができました。

それから、私は、日本語を上達させるために、たくさんの日本のドラマや歌を観ました。

2013年には、当時の日本の天皇皇后両陛下がチェンナイを訪問されました。私は天皇皇后両陛下にお会いし、日本語でご挨拶をさせていただきました。

また、在チェンナイ日本国総領事館が主催するイベントにも参加し、チェンナイに住む日本人の方たちと出会う機会がありました。

2014年には、私はチェンナイの日本語スピーチコンテストで優勝し、日本に招待してもらいました。それは人生で初めて日本に来た経験でした。滞在中は、東京と静岡を訪れました。静岡ではホームステイを体験しました。東京では、交換留学生として私のチェンナイの学校に留学に来ていた創価大学の日本人の友だちと再会することができました。インドに戻ったあと、私は「高校を卒業したら、日本にまた必ず行こう」と、自分に誓いました。
インドで生まれ育った私は、人々に深い痛みと苦しみをもたらす多くの問題を見てきました。それは、カースト主義、宗教間の争い、ジェンダーに基づく暴力、大量虐殺などです。

これらの状況を見て、私は人権担当官になり、インドだけではなく、世界中の社会から取り残されている人々と一緒に人権の為に働こう闘おうと決めました。

APU入学後、私は３つのゴールを決めました。それは、勉学を通して自分を成長させることと、国際機関である国連の公用語を学ぶこと、そして実践的な経験を積むことです。

勉学について、私は、人権Officerになるという夢を実現するため、特に、人権のメカニズムと子ども、情勢の権利条約を学んでいます。また、コースワークの一環として、人権条約と、人権条約の役割と機能、そしてこれらの条約が実施される背景にある地域的要因を分析しています。また、政界の人権問題について詳細な研究と分権の参照をするため、人権関連の研究セミナーにも参加しています。今後は、スリランカで起こったタミル民族虐殺に関する論文を書き、インドのタミル難民の状況を分析していく予定です。

国連の公用語を学ぶことについてです。私は高校生の時にフランス語を学びました。APUで

もフランス語を続けたいと思いましたが、APUにはフランス語のクラスがないため、現在は、フランス語に似ているスペイン語を勉強しています。今後、スペイン語能力検定試験を受ける予定です。

そして、大学で人権についての学問を学ぶこととは別に実践的な経験を積むことが大事だと感じています。実践的な知識とスキルを身に付けるため、様々な組織と協力して、様々な国で、社会から取り残された人々の人権を守るため、プロジェクトに取り組んできました。

私が初めて海外ボランティアを経験したのはミャンマーでした。ミャンマーでは、他のグローバルボランティアと協力して、国連のSDGs、持続可能な開発目標について、啓発活動をして、ミャンマーの国中を回りました。また、ミャンマーの長い内戦で犠牲になった子どもたちに英語を教えるボランティア活動も経験しました。

また、コロナパンデミックの前には、APUの教育機関の中心メンバーでした。そこでは、パキスタンにあるLandhiというとても貧しい地域の６年生の子どもたちに英語を教える活動をしました。他のメンバーが日本語を教える活動をしました。

最近までは、国連ボランティアとして南アジアUNICEFにて、性教育や健康的な食事など重要な調査を英語からタミル語に翻訳するボランティア活動をしてきました。また、UNDP (国連開発計画)とUN Womenの共同プロジェクトである、COVID-19 Global Gender ResponseTrackerに研究支援を行いました。そこでは、情勢の経済支援や、無給労働者の支援など、政府によって実施された政策を調査しました。

それに加え大学では学生大使を務めたり教育の支援を行ったりしました。また、ディベート大会に参加し来月はムートコートという大会に出場し私は国際弁護士として今まで学んだ国際法を実践の場で活用します。

数ヶ月前、私は、インドの警察の残虐行為の問題について、国際人権団体に記事を書く機会がありました。記事のタイトルは「警察が人を殺したとき、あなたは誰に助けを求めますか？」です。この記事は、カーストの低い人々、イスラム教の人々、社会から取り残されたコミュニティの人々が、警察によってわざと逮捕されやすいという問題を伝えています。

私は、APUを卒業したら　インドまたは他の南アジアの国に戻って、人権問題に取り組んでいる組織の一員として現場で働くことを計画しています。２から３年間働いたあと、アメリカかイギリスの大学院に進学して人権についてもっと詳しく勉強したいです。

最後に、私が尊敬する人の言葉をみなさんに共有してこのプレゼンテーションを終わりにします。「periyar」と呼ばれる社会活動家は「Intellect and self-respect makes humans beautiful、知性と自尊心が人間を美しくする」といいました。

人々が自分を大切にする心を持ち、合理的に考えることができれば、状況は改善されると信じました。私も、「知性と自尊心が人間を美しくする」と信じています。誰もが尊厳のある生活をし、生きる権利があります。そのために、将来は社会から取り残され、声をあげられない　人々のために、人々の人権のために人々と一緒に闘います。

最後に、私の人生や、夢について、みなさんと共有する機会を与えてくれた、ロータリー米山財団に感謝します。私の夢を信じてくれてありがとうございます。 将来、一生懸命頑張って、夢を叶えることを約束します！